

令和7年 壱岐市議会定例会 2月議会 議 録 (第2日)

議事日程 (第2号)

令和7年2月28日 午後1時30分開議

日程第1	議案第10号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う 関係条例の整理に関する条例の制定について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第2	議案第11号	行政手続における特定の個人を識別するための 番号の利用等に関する法律の一部改正 に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第3	議案第12号	壱岐市行政組織条例の一部改正について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第4	議案第13号	壱岐市職員の勤務時間、休暇等に関する条 例の一部改正について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第5	議案第14号	収入印紙及び長崎県収入証紙等購買基金条 例の一部改正について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第6	議案第15号	壱岐市教育に関する事務の職務権限の特例 に関する条例の制定について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第7	議案第16号	壱岐市立小学校及び中学校施設の開放に関 する条例の制定について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第8	議案第17号	壱岐市福祉医療費の支給に関する条例の一 部改正について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第9	議案第18号	壱岐市家庭的保育事業等の設備及び運営に 関する基準を定める条例の一部改正につい て	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第10	議案第19号	壱岐市放課後児童健全育成事業の設備及び 運営に関する基準を定める条例の一部改正 について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第11	議案第20号	壱岐市こども計画の策定について	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第12	議案第21号	初山漁港（初瀬地区）漁村再生工事（2工 区）請負契約の変更について	質疑なし、 産業建設常任委員会付託
日程第13	議案第22号	令和6年度壱岐市一般会計補正予算（第7 号）	質疑なし、 予算特別委員会付託
日程第14	議案第23号	令和6年度壱岐市国民健康保険事業特別会 計補正予算（第4号）	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第15	議案第24号	令和6年度壱岐市後期高齢者医療事業特別 会計補正予算（第2号）	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第16	議案第25号	令和6年度壱岐市介護保険事業特別会計補 正予算（第4号）	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託

日程第17	議案第26号	令和6年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算（第2号）	質疑あり、 産業建設常任委員会付託
日程第18	議案第27号	令和6年度壱岐市下水道事業会計補正予算（第3号）	質疑なし、 産業建設常任委員会付託
日程第19	議案第28号	令和7年度壱岐市一般会計予算	質疑なし、 予算特別委員会付託
日程第20	議案第29号	令和7年度壱岐市国民健康保険事業特別会計予算	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第21	議案第30号	令和7年度壱岐市後期高齢者医療事業特別会計予算	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第22	議案第31号	令和7年度壱岐市介護保険事業特別会計予算	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第23	議案第32号	令和7年度壱岐市三島航路事業特別会計予算	質疑なし、 総務文教厚生常任委員会付託
日程第24	議案第33号	令和7年度壱岐市農業機械銀行特別会計予算	質疑なし、 産業建設常任委員会付託
日程第25	議案第34号	令和7年度壱岐市水道事業会計予算	質疑あり、 産業建設常任委員会付託
日程第26	議案第35号	令和7年度壱岐市下水道事業会計予算	質疑あり、 産業建設常任委員会付託
日程第27	要望第1号	壱岐市立図書館の建設について要望書	総務文教厚生常任委員会付託
日程第28	発議第1号	壱岐市議会議員定数条例の一部改正について	総務文教厚生常任委員会付託

本日の会議に付した事件

（議事日程第2号に同じ）

出席議員（16名）

1 番 松本 順子君	2 番 樋口伊久磨君
3 番 武原由里子君	4 番 山口 欽秀君
5 番 山内 豊君	6 番 中原 正博君
7 番 山川 忠久君	8 番 植村 圭司君
9 番 清水 修君	10番 土谷 勇二君
11番 音嶋 正吾君	12番 豊坂 敏文君
13番 中田 恭一君	14番 市山 繁君
15番 赤木 貴尚君	16番 小金丸益明君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

議会事務局局長 村田 靖君 議会事務局次長 松永 淳志君
議会事務局書記 柳原 隆次君

説明のため出席した者の職氏名

市長	篠原 一生君	副市長	中上 良二君
教育長	山口 千樹君	総務部部長	平田 英貴君
企画振興部部長	塚本 和広君	市民部部長	吉田 博之君
保健環境部部長	草合 正吉君	農林水産部部長	松嶋 要次君
建設部部長	平本 善広君	消防本部消防長	山川 康君
教育次長	目良 顕隆君	総務課課長	横山 将司君
財政課課長	原 裕治君	会計管理者	篠崎 昭子君

午後 1 時 30 分開議

○議長（小金丸益明君） 皆さん、こんにちは。

ただいまの出席人数は 16 名であり、定足数に達しております。

これより本日の会議を開きます。

日程第 1. 議案第 10 号～日程第 12. 議案第 21 号

○議長（小金丸益明君） 日程第 1、議案 10 号から日程第 12、議案第 21 号までの 12 件を議題とし、これから一括して質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 質疑がありませんので、これで議案第 10 号、外 11 件の質疑を終わります。

日程第 13. 議案第 22 号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第 13、議案第 22 号を議題とします。

本件につきましては、議長を除く１５名で構成する特別委員会を設置し、審査を行うようにしておりますので、質疑については委員会をお願いいたします。

日程第１４．議案第２３号～日程第１６．議案第２５号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第１４、議案第２３号から日程第１６、議案第２５号までの３件を議題とし、これから一括して質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 質疑がありませんので、これで議案第２３号、外２件の質疑を終わります。

日程第１７．議案第２６号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第１７、議案第２６号を議題とします。

質疑の通告がっておりますので、これを許します。４番、山口欽秀議員。

○議員（４番 山口 欽秀君） 令和６年度壱岐市農業機械銀行特別会計補正予算に関わることなんですが、今回の補正の内容、機械銀行の使用収入が８００万円減少したということでの補正が出されているわけですが、この８００万円の補正の原因が天候不順のために減少になったというふうに説明されましたが、もう少し詳しくお伺いしたいと思います。天候が最近急激に変化しており、農業への影響が大きいわけでありますが、その中で８００万円の減少ということではありますが、その原因が天候不順だけだったのか、ほかには要因はなかったのかという点での把握の仕方ですね。それからこのように天候不順に伴う農家の農作業へに対する影響が多々出ていると思うんですが、そういう面で機械銀行が収入を減っただけではなくて、農家の方が農作業を変更せざるを得ない、やめざるを得ない、急遽ほかのところに、農業機械銀行以外にも頼まないかんとか、そういう農家の方にとって天候不順に伴う機械銀行の利用以外でのトラブルっていうか問題点が発生していないのかどうか、その辺りの状況、要因等を答弁していただけないでしょうか。

○議長（小金丸益明君） ただいまの質疑に対する理事者の答弁を求めます。松嶋農林水産部長。

○農林水産部部長（松嶋 要次君） ４番、山口議員の御質問にお答えをいたします。

先日の議案説明で申し上げました使用料について、今年度の春秋の天候不順が影響し、農作業受託が減少したと説明したことに対する質問であると捉えております。

議案説明で申し上げました天候不順が影響と言いましたのは、大きく影響した要因を代表して述べたものでございます。今回、特に減少したのは牧草やわらのロールラップ作業でありまして、雨が多かったことで作業できる期間が短くなったことにより、ほかの農家や受託業者等へロールアップ作業を委託されたためではないかと考えております。また、そのほかの要因といたしまし

て、全体的に農家が規模縮小や減少していることや、農家がそれぞれ大型農業機械を導入されていることも要因であるというふうに考えております。以上でございます。

○議長（小金丸益明君） 山口議員。

○議員（４番 山口 欽秀君） 農家というのは、天候で作業計画が大きく狂うということで大変苦勞されるところであります。今言われましたところでいくと、本来農業銀行を予定しておったのに、天候の次第で農業銀行がキャンセルされたら、そういう急遽の事態という中で、農業銀行は、ある程度余裕を持って農家の方の要望に応えられるような体制は取っていなかったのか、そういう面で、今回の８００万円の使用料の減額であります。結局は農家の方が苦勞されて、ほかの業者に頼まれたということであると、やっぱり農家にとっては大変だったと思うんですが、その辺り、今後、今年度も含めて、異常気象が続くのではないかという中で、天候不順であつてもある程度機械銀行として要望に応える体制をつくるとか、その辺りの考えはどうなんでしょうか。

○議長（小金丸益明君） 松嶋農林水産部長。

○農林水産部部長（松嶋 要次君） ただいまの追加の御質問に対しまして、お答えをさせていただきます。

委員言われるように、天候不順、異常気象等に対する体制が取れないのかというようなところでございますが、やっぱり異常気象、雨が多かった場合には、農作業の適期というものがありまして、その時期までにやっぱり終わらなければならない作業というものがございます。それに合わせた体制を取るということは、やっぱり人間も増やさなければならない、機械も増やさなければならないということになりますので、その部分に関しましては、対応が難しいんじゃないかなというふうに思っておりますけれども、できるだけ農家のそういった付託にも応えられるような体制を取るように心がけていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（小金丸益明君） 山口議員。

○議員（４番 山口 欽秀君） 天候不順ということで、天気にはなかなか勝てないわけですが、そういう事態の中でも農家の方にできるだけ応えられるような体制を整えていただくというのも機械銀行の役割かなと思います。先ほど触れられた農家の減少ということですね、やはり耕作放棄地がどんどん増えて、農家も稲作含めて作らなくなっているということで、新年度の予算を見ますと、機械銀行のそういう使用料の収入も減額で見られてありますが、その辺り、農家の減少については、今後少なくなったら対応できると思います。その分農業機械銀行の経営にも影響すると思いますが、この辺りの考え方は今後どう考えていらっしゃるか、お願いします。

○議長（小金丸益明君） 松嶋農林水産部長。

○農林水産部部長（松嶋 要次君） ただいまの追加の御質問にお答えをさせていただきます。

今後の農業につきましては、皆様方も御存じだろうと思えますけども、やっぱり若い農業者が出てこない限りは減少していくんだろうなというふうに思っております。そうすれば作業受託も減っていきます。収入も減ってくるだろうというふうに思っておりますけども、市道の管理であるとかそういうところにも力を入れながら、経営はやっていかなければならないと思っておりますし、農業政策におきましては、後継者対策も今後進めていかなければならないというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（小金丸益明君） 以上で、通告による質疑を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 質疑がありませんので、これで議案第26号の質疑を終わります。

_____・_____・_____

日程第18．議案第27号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第18、議案第27号を議題とします。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 質疑がありませんので、これで議案第27号の質疑を終わります。

_____・_____・_____

日程第19．議案第28号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第19、議案第28号を議題とします。

本件につきましては、議長を除く15名で構成する特別委員会を設置し、審査を行うようにしておりますので、質疑については委員会でお願ひします。

_____・_____・_____

日程第20．議案第29号～日程第24．議案第33号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第20、議案第29号から日程第24、議案第33号までの5件を議題とし、これから一括して質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 質疑がありませんので、これで議案第29号、外4件の質疑を終わります。

_____・_____・_____

日程第 2 5、議案第 3 4 号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第 2 5、議案第 3 4 号を議題とします。

質疑の通告がっておりますので、これを許します。4 番、山口欽秀議員。

○議員（4 番 山口 欽秀君） 令和 7 年度壱岐市水道事業会計の予算について質問させていただきます。次の下水道事業とも同じような観点で質問するわけではありますが、全国で水道、下水道のシステム、施設の事故、とりわけ八潮市の道路陥没事件とか事故というのが大きく報道されていますが、その中で水道、下水道の長期維持するための自治体の状況というのがいろいろ多々ニュースに流れているわけで、そういう点で壱岐市の状況を質問させていただきます。

まずは、壱岐市の水道施設の老朽化の現状をどう考えて、どのような取組なのかということがあります。そして今年度どういう取組をまず計画をしているかという点であります。水道というと漏水の問題があるわけで、壱岐市の漏水もかなりあるというふうに聞いておりますが、現状と対策について答弁をお願いいたします。

○議長（小金丸益明君） ただいまの質疑に対する理事者の答弁を求めます。平本建設部長。

○建設部部长（平本 善広君） 4 番、山口議員の御質問にお答えをいたします。

初めに、水道施設の老朽化の現状についてでございますが、水道施設の老朽化に伴う整備は、公営企業の経営上大きな課題となっております。水道施設の機械、電気設備につきましては、維持管理の中で老朽化等による更新優先順位を決め、順次補修、更新を行っているところでございますが、浄水場や配水池、水道管につきましては、老朽化による更新及び耐震化が急務な状況となっております。

続きまして、今後の水道施設の維持管理の方策をという御質問と併せまして、今年度の維持計画はどのようなもののかの御質問でございますが、現在、浄水場及び配水池の運転維持管理につきましては、外部委託を行っておりまして、民間ならではのコスト削減や技術力で、機器類等の予防・保全的な維持管理により長寿命化を図り、重大事故を未然に防ぐことでコスト削減を図っているところでございますので、今後も継続をしてまいりたいと考えております。

また、浄水場や配水池、水道管を含む水道施設につきましては、現在策定中であります施設整備計画等を指針とし、今後、更新工事を行っていく予定でございますが、計画策定においては、人口規模に応じた施設設備の規模、縮小及び施設の統廃合も併せて検討をしていきたいと考えております。

最後に、漏水の現状と対策をどう考えているかという御質問でございますが、まず漏水の状況ですが、浄水場などから送った水の量のうち、各家庭等で使われている水の量の割合を有収率としておりますけれども、本市の令和 5 年度における有収率は約 7 1 %、残りの 2 9 %が漏水しているというふうに考えております。

漏水調査を外部委託することで、この割合は年々改善をしております、委託する前の平成２３年度と比較しますと約１２．７％改善をしておりますが、県内の他市町と比較しますと低い割合でございます。外部委託による漏水調査につきましては、年間約１３０キロの漏水調査を行い、漏水箇所は随時修理を行っております。参考に令和５年度における外部委託による漏水調査の結果、１０９か所の漏水箇所発見により修理を行っている状況でございます。漏水調査及び修理により、一定の効果がございますが、今後は老朽管の更新工事によるさらなる成果を目指してまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（小金丸益明君） 山口議員。

○議員（４番 山口 欽秀君） 漏水との関係ですが、水道管の破裂による漏水事故というのは、年間どのくらいの規模で起きているか。それはそういう大規模な破裂が初めて分かって工事するということにつながるわけで、そういう事故というのはどの程度壱岐市では起きているわけでしょうか。

○議長（小金丸益明君） 平本建設部長。

○建設部部長（平本 善広君） 山口議員の再度の質問にお答えをいたします。

まず、漏水の原因といたしましては、管の経年劣化、そして時期的には冬場の凍結、そしてまた、車両通行等による外部からの振動等が考えられているところでございますが、先ほど答弁させていただきましたように、まず漏水調査の結果では、１０９か所の漏水を発見をいたしております。また、それとは別に、地域の方々から漏水の連絡も入ることがあるわけでございますけれども、約年間８０件程度、地域の方々からの連絡により、漏水の修理を行っている状況でございますが、大きな破裂といった形では、年間そんなに多く発生しているような状況ではございません。道路からの吹き出し等々がほとんどでございますので、そんなに大きな災害につながるような破裂というのは起きていることはないと思っております。

以上でございます。

○議長（小金丸益明君） 山口議員。

○議員（４番 山口 欽秀君） 壱岐市の場合、大きな水道管というのが大都市部と比べればないだろうから、そういう大きな事故につながっていないと思いますが、特に災害時、能登の地震なんかがあったときに、水道、電気が大きく被害を被ると。即急に対してやっぱり時間がかかるとか、そういう事態が災害時にありますよね。そういうことも含めて考えると、今の状態、外部委託で問題を解決している、調査をしている、復旧も外部委託でしていると。そういう頼り方が、そこに力があるわけで、緊急事態になったときの市の職員が技術的に水道を維持するとか、それから何かの災害時に救急手当でするとか、そういう水道という点で、かなり熟練の技術を蓄積す

る必要があるというふうに考えるわけですが、そういう点で外部委託だけではなくて、市の職員の中に技術的に水道をしっかり維持する体制が必要ではないかなと思いますが、その点で今後の上水道の維持管理について、お考えはありますか。

○議長（小金丸益明君） 平本建設部長。

○建設部部長（平本 善広君） 山口議員の御質問にお答えをいたします。

山口議員の御指摘のとおりだというふうに思っております。市の職員も水道業務におきましては、専門的な知識、また経験が必要となってまいりますので、今後水道事業を運営していく中では、専門的な職員を継続して配置する必要もあろうかと思っております。ただ、漏水の復旧につきましては職員も即座に対応しておりますが、いずれにしましても業者等々への依頼が必要になってまいりますので、その復旧に対しては、市内の水道工事の業者さんとも連携を図りながら早急な対応に努めているところでございます。

以上でございます。

○議長（小金丸益明君） 以上で、通告による質疑を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 質疑がありませんので、これで議案第34号の質疑を終わります。

日程第26、議案第35号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第26、議案第35号を議題とします。

質疑の通告がっておりますので、これを許します。4番、山口欽秀議員。

○議員（4番 山口 欽秀君） 水道に続いて、下水道についてもお伺いします。さきに言いましたように、八潮市の陥没事故がありましたが、壺岐市の場合、下水道の陥没とかそういう事故は今起きていないのでしょうか、そういう現状。それから八潮市の現状から、下水道の施設の老朽化を点検すると、国のほうもそういうふうな方針で、実際に下してきていると思うんですが、そういう壺岐市の下水道の老朽化の状況の点検は、今後どういうふうな状態にしていく方針なのか。特に新年度の予算でどういう取組を下水道関係でやっているのか、その辺りのお考えを聞かせください。

○議長（小金丸益明君） ただいまの質問に対する理事者の答弁を求めます。平本建設部長。

○建設部部長（平本 善広君） 4番、山口議員の御質問にお答えをいたします。

初めに、埼玉県八潮市の陥没事故の件に触れられましたので若干御説明をいたしますと、本年1月に埼玉県八潮市におきまして、下水道の管の腐食により道路の陥没事故が発生をいたしております。この八潮市につきましては、下水道の管の直径が約4.75メートル、そして昭和

５８年に整備がされておられまして、４２年の年数を経過しているところでございます。また、流域関連といたしましては、十二市町の広域での下水道事業を行っておられまして、約１２０万人に影響があったというふうに言われているところでございますけれども、それを踏まえまして、壱岐市の対応のほうを説明させていただきます。

初めに、下水道施設の老朽化の状況でございますけれども、現状でございますが、本市の下水道施設の供用開始年度につきましては、公共下水道、これは武生水地区になりますけれども、北部が平成１０年度、中央につきましては平成１８年度、また漁業集落排水施設の恵美須地区につきましては平成１１年度、山崎地区が平成１５年度、瀬戸、芦部地区につきましては、平成２０年度から平成３０年度にかけて、段階的に供用開始がなかれております。最も古いもので供用開始から２７年を経過していることになります。下水道施設の機械、電気設備につきましては、水道事業同様に維持管理の中で老朽化等による更新優先順位を定め、順次、補修、更新を行い、大規模なものにつきましては更新計画に基づき、国の補助事業を活用し、更新工事を行っております。下水道施設及び下水道管につきましては、大体供用開始から５０年程度で更新が必要になってくると考えております。

次に、今後の下水道施設の維持管理の方策でございますけれども、現在、下水処理施設及びマンホールポンプ場の運転維持管理につきましても、外部委託を行っておりまして、今後も継続してまいりたいと考えております。下水道事業につきましては、平成６年度から公営企業会計に移行し、経営状況や財政状況をより正確に評価、判断することで、経営の効率化に努めていくことといたしております。ですが今後、漁業集落排水施設の恵美須地区につきましては、近接する瀬戸、芦部地区との統合により処理場を廃止し、下水処理の効率化を図るとともに維持管理費の縮減を図る計画といたしております。

また、下水道施設及び下水道管の更新計画につきましても、今後検討はしてまいりますが、できるだけ施設の長寿命化を図り、最大限長寿命化を図り、将来の更新費用という観点では、費用の平準化、最適化を図れるように努めてまいりたいと思います。

また、先ほどの下水道の埼玉県事故を踏まえまして、本市におきましては、この下水道の管が壱岐市においては下水道管を通してのわけなんですけれども、管の直径、径が大体１００ミリから２５０ミリ、埼玉県八潮市の場合はもう４メートル以上の大規模な下水道の施設でございました。そのような大きな施設につきましては、長崎県内でも恐らくあれだけ大きな管はないというふうに聞いておりまして、当然ながら私どもも維持管理の上では調査が必要になってきますけれども、個別にこの事故を受けて調査をするということは、現在のところいたしておりません。通常の維持管理の中で、管の状況等々を業者さんにも見てもらいながら、今後も維持管理に努めていこうというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（小金丸益明君） 山口議員。

○議員（４番 山口 欽秀君） 水道もそうですけども、下水道についても、管そのものの規模が小さいから大きな事故にはつながらないというふうに思いますけども、維持管理の点でやっぱり日常的に調査をしながら、異変を早めにつかんで対処するということが必要かなというふうに思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

以上です。

○議長（小金丸益明君） 以上で、通告による質疑を終わります。

ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 質疑がありませんので、これで議案第３５号の質疑を終わります。

以上で議案に対する質疑を終わります。

これより、委員会付託を行います。

議案第１０号から議案第２１号まで及び議案第２３号から議案第２７号まで並びに議案第２９号から議案第３５号までの２４件を、タブレットに配信しております議案付託表のとおり、それぞれの所管の委員会に付託します。

お諮りします。議案第２２号及び議案第２８号は、議長を除く議員全員で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することにしたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 異議なしと認めます。したがって、議案第２２号及び議案第２８号については、議長除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、これに付託して審査することに決定しました。

お諮りします。ただいま設置いたしました予算特別委員会の委員の選任については、委員会条例第８条第１項の規定により、議長を除く１５名を指名したいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（小金丸益明君） 異議なしと認めます。したがって、議長を除く１５名を予算特別委員に選任することに決定いたしました。

今定例会における予算特別委員会の正副委員長につきましては、議会運営委員会で協議し、総務文教厚生委員の中からとし、委員長に樋口伊久磨議員、副委員長に松本順子議員と決定いたしましたので報告いたします。

日程第２７．要望第１号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第27、要望第1号を議題とします。

ただいま上程いたしました要望第1号については、タブレットに配信の陳情等文書表のとおり、所管の委員会に付託します。

日程第28、発議第1号

○議長（小金丸益明君） 次に、日程第28、発議第1号を議題とします。

ただいま上程いたしました発議第1号については、総務文教厚生常任委員会へ付託します。

○議長（小金丸益明君） 以上で、本日の日程は終了いたしました。

これで散会いたします。皆様、大変お疲れさまでした。

午後2時00分散会
